

政務活動費収支報告書

令和4年 4月 7日

島田市議会議長 大石 節 雄 様

議員氏名 大村 泰 史

令和3年度の政務活動費について、次のとおり報告します。

収入の部

単位：円

項 目	決 算 額	摘 要
政務活動費交付金	183,326	
計	183,326	

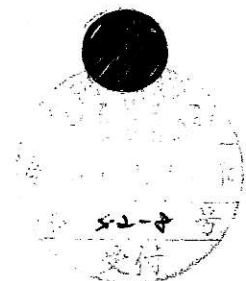
支出の部

単位：円

項 目	決 算 額	摘 要
調査研究費	51,822	視察調査
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	32,150	書籍等購入
その他の経費		
計	83,972	

政務活動費残額 99,354 円

※ 調査研究その他の活動の概要及び領収書を添付してください。



政務活動費支出決算額明細書

項目	支出明細	領収書貼付 用紙の番号
調査研究費	51,822 円	
	『NPO法人にいほま森のようちえん』視察調査 愛媛県新居浜市垣生五丁目4番14号 (R4.1.12) 『久万高原町立父二峰小学校』視察調査 愛媛県上浮穴郡久万高原町露峰甲364 (R4.1.13) 51,822 円	
	・旅費 36,010 円	1
	・宿泊代 8,850 円	2
	・視察代 5,000 円	3
	・手土産代 (5,886 円÷3人) 1,962 円	4
資料購入費	32,150 円	
	・森林を活かす自治体戦略 市町村森林行政の挑戦 3,300 円	5
	・事例から学ぶ 若者の地域参画 成功の決め手 2,860 円	6
	・社会的弱者にしない自治体法務 3,960 円	(6)
	・「関係人口」創出で地域経済をうるおす シティプロモ2.0 2,310 円	(6)
	・「生きた」議員提案条例を作ろう 2,420 円	(6)
	・自治体議員が知っておくべき新地方公会計の 基礎知識 [改訂版] 3,300 円	(6)
	・自治体議員 活動総覧 ～議員発言事例集～ 14,000 円	(6)
計	83,972 円	


	議 長	副議長	事務局長	次 長	係 長	担 当
決 裁						

領収書貼付 用紙の番号	/
----------------	---

政務活動出張申請書

令和3年12月21日

島田市議会議長 大石節雄 様

島田市議会議員 大村泰史 

市政調査研究（調査研究・研修）のため、下記に出張をいたく届け出ます。

出張年月日	令和4年1月12日(水)から令和4年1月13日(木)まで
出張先	(1/12) 『NPO法人にいほま森のようちえん』 愛媛県新居浜市垣生五丁目4番14号 (1/13) 『久万高原町立父二峰小学校』 愛媛県上浮穴郡久万高原町露峰甲364
出張の目的	○NPO法人にいほま森のようちえん 全国的に広がりを見せている森のようちえんの現状調査及び 運営上の課題等を収集調査する。 ○久万高原町立父二峰小学校 小規模校である生徒数14名の久万高原町立父二峰小学校の 現状把握および教育方針・課題を調査する
行程・利用交通 (交通手段の理由)	別紙の行程表(交通費計算書)による。
旅費	別紙 政務活動出張旅費支出伝票による

	議長	副議長	事務局長	次長	係長	担当
決裁			●	●	●	●

領収書添付用紙の番号

政 務 活 動 出 張 旅 費 支 出 伝 票

出張日	令和 4 年 1 月 12 日 ~ 令和 4 年 1 月 13 日			
出張先	愛媛県新居浜市「NPO法人にいほま森のようちえん」、久万高原町立父三峰小学校			
旅費	交通費	宿泊費	日当	参加者負担金等
下記計算の基礎参照	36,010円			
			計	36,010円

計算の基礎

旅程	合計 km				
島田 ~ 掛川 ~ 新大阪 ~ 岡山 ~ 観音寺 ~					
多喜浜 ~ 松山 ~ 道後温泉駅 ~ 県庁前 ~ 久万高原 ~					
松山 ~ 岡山 ~ 新大阪 ~ 掛川 ~ 島田 ~					

鉄道運賃 ※601キロ以上は往復割引適用(同一経路のみ)、地下鉄等は2キロ以上から

		↓片道キロ数		
島田 ~ 松山	(739.5 km)	往復	21,860円	
往復割引	()	往復	-2,200円	
松山 ~ 道後温泉	(4.1 km)	片道	180円	
道後温泉 ~ 県庁前	(2.6 km)	片道	180円	
	()	計	20,020円	

加算運賃 (JR北海道、四国、九州) km 円

鉄 道 運 賃 計 20,020 円

特急料金等 ※乗継割引利用な場合は利用、座席指定の可否確認、片道キロ数確認

新幹線	掛川 ~ 岡山	503.6 km	往復	10,980円
在来線特急	岡山 ~ 観音寺	76.5 km	片道	860円
在来線特急	松山 ~ 岡山	214.4 km	片道	1,470円
座席指定料金		()	往復	円

		↓片道キロ数		
車賃(バス)	県庁前 ~ 久万高原	(30.7 km)	片道	1,320円
車賃(バス)	久万高原 ~ 松山	(32.3 km)		1,360円

航空賃、船賃 ~ 往復 円

交 通 費 合 計 36,010 円

宿泊料 @13,100 × 泊 円

日当 @2,600 × 日 + @1,300 × 日 円

↓日当の調整がある場合は、理由を記載すること

()

その他 現地での移動はタクシーを利用(別途実績による実費) 円

旅 費 合 計 36,010 円

令和3年12月21日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議会議員 大村 泰史

政務活動費でのレンタカー、タクシー、新幹線、航空機等の
使用に関する理由書

政務活動費での研修にあたり、次のとおり特別急行及びタクシーを使用したいので、島田市議会議員政務活動費に関する内規に基づき提出いたします。

記

1. 視察日 令和4年1月12日（水）、13日（木）
2. 申請内容 ①多喜浜駅からいはいはま森のようちえん活動場所への往復のタクシー利用及び久万高原町立父二峰小学校への最寄りのバス停（久万高原）からの往復のタクシー利用
②岡山駅と多喜浜駅間の在来線特急の利用
3. 申請理由 ①政務活動出張申請中、いはいはま森のようちえんの視察に当たり多喜浜駅から活動場所への交通手段がないため、また、久万高原町立父二峰小学校の視察においては久万高原バス停からの公共交通手段がないため、それぞれタクシーを利用したい。
②岡山駅から多喜浜駅の移動に当たり、特急を利用する以外に視察時間に間に合う列車がないため、規定の100kmには満たないが、特急を使用したい。
島田市議会議員政務活動費に関する内規第6（3）イの規定に基づきタクシーを、同エの規定に基づき特別急行を使用する行程としたい。

領 収 書 等

項 目	調査研究費		
支出明細	宿泊代	領収書貼付 用紙の番号	2

領 収 書

No. 00001092-00

2022/01/12

オムラ ヤスジ 様

金額 ￥ 8,850 -

(内消費税 ￥804)

但し、ご宿泊代

として、

上記金額正に領収いたしました。



道後hakuro

〒790-0936 愛媛県松山市道後鶴谷町3番1号

TEL:089-903-8960

FAX:089-903-8961



領 収 書 等

項 目	調査研究費		
支出明細	視察代	領収書貼付 用紙の番号	3

領 収 証

大村 泰史

様 No. 5-3

★ ¥ 5,000 -

内 訳	
現 金	
小切手	/
手 形	/
消費税(10%)	
消費税(8%)	
内税額計	

但 視察代として

R4 年 1 月 12 日 上記正に領収いたしました

登録番号

〒792-0872 愛媛県新居浜市垣生五丁目4番14号

NPO法人 にはま森のようちえん

理事長 白 岡

E-mail: nhm_forest@yahoo.co.jp

収入印紙



領 収 書 等

項 目	調査研究費		
支出明細	手土産代	領収書貼付 用紙の番号	4

領収証

No. _____

緑風しまん(大村泰史)様

4 年 1 月 10 日

金額									
			4	5	8	8	6		

内

消費税等

軽8%

但

あ品代

上記正に領収いたしました

現金	✓	
小切手		

株式会社 三浦製菓

〒420-3003 静岡県島田市川根町家山717-5
TEL 0547-53-2073
FAX 0547-53-4144
http://www.chayoukan.com
〒420-0104 静岡県島田市金谷河原1045-3
TEL 0547-45-2839
FAX 0547-45-3044



視察先

NPo法人こいほま森のようちえん (R.4.1.12)

久万高原町立父二山峰小学校 (R.4.1.13)

$$¥5,886 \div 3 = ¥1,962 \text{ (一入あ品)}$$

領 収 証 大村泰史 様 No. _____

金額									
			¥	1	9	6	2		

内 訳
現金

小切手

手形

消費税額等(%)

但 視察手土産代

令和4年1月12日 上記正に領収いたしました

島田市金谷根岸町142-1

大村泰史



収入印紙

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	森林を活かす自治体戦略 市町村森林行政の挑戦	領収書貼付 用紙の番号	5

注文番号bookfan-15546230の領収書

bookfanプレミアム
〒101-0062
東京都千代田区
神田駿河台2-9
KDX御茶ノ水ビル 7F

大村 泰史 様

発行日：2021年08月18日

注文日：2021年08月15日

合計金額：3,300円

注文情報

注文商品

森林を活かす自治体戦略 市町村森林行政の挑戦 / 柿澤宏昭

価格

数量：1
単価：3,300円
小計：3,300円

注文者

氏名：大村 泰史

住所：〒428-0018 静岡県島田市金谷根岸町142-1

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	「事例から学ぶ 若者の地域参画 成功の決め手」他	領収書貼付 用紙の番号	6

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
03-09-0623013	A93280002	
取扱店	カナヤ	
払込口座	00190-8	660372
払込金額	*28,850	料金 *0

00190	8	660372
第一法規株式会社		
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		
TEL 03-5561-1111		
FAX 03-5561-1112		
大村 謙史		
(108-003906-0000)		

振替受付票
 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
 料金には、消費税等が含まれています。
 (ゆうちょ銀行)

記号番号 *****

・ 事例から学ぶ 若者の地域参画 成功の決め手	2,860 円
・ 社会的弱者にしない自治体法務	3,960 円
・ 「関係人口」創出で地域経済をうるおす シティプロモ 2.0	2,310 円
・ 「生きた」議員提案条例を作ろう	2,420 円
・ 自治体議員が知っておくべき新地方公会計の 基礎知識 [改訂版]	3,300 円
・ 自治体議員 活動総覧 ～議員発言事例集～	14,000 円

※購入した書籍は、別添のとおり

調査研究報告書

令和4年 4月 7日

島田市議会議長 大石 節雄 様

議員 大村 泰史

令和3年度の調査研究テーマに基づく活動等について、次のとおり報告します

※調査研究テーマを下記5項目としました

- 1 まちづくりについて
- 2 福祉について
- 3 子育て・教育について
- 4 業務委託について
- 5 森林環境譲与税について

※全体の総括

令和3年度においても前年度同様、コロナ禍の影響で感染防止策により移動制限や各種イベントの中止、密集を避ける等の処置がとられ結果として各セミナーへの受講が叶わなかった為、セミナー関連での情報収集ができない一年となりましたが幸いにも視察の受け入れ先があり実施できました

1. まちづくりについて

(1) R4.1.12 『NPO法人にいほま森のようちえん』視察調査を実施

―― 詳細は調査研究報告書参照 ――

○以前から全国的に広がりを見せている「森のようちえん」の実際の活動状況を見学させて頂きました。自然環境の中で子供たちの生き生きとした伸びやかな様子を確認でき、親御さんの通常の幼稚園等に我が子を託すことを良しとしない思いが叶えられている状況を拝見できたと共に認可外保育施設での保育料無償化の問題等、活動団体の様々な課題を知ることとなりました
近年の一段と厳しさを増している子どもをとりまく環境での子育ての大変さを強く感じ、子供たちにとっての幼児期における自然体験が将来の糧となることを強く望む視察となりました

また、森のようちえんの活動を通して地域の後援、協力を得ている状況も感じられ、まちづくりを担っているのではと考えました

4. 業務委託について

業務委託については今回研修等を受講する機会がなく報告するに至りませんが継続して調査研究してまいります

5. 森林環境譲与税について

森林環境譲与税については今回研修等を受講する機会がなく報告するに至りませんが当市の7割近くを占める森林面積の維持管理や有効利用に向けての森林環境譲与税の活用を見守って行くと共に、継続して調査研究してまいります

報 告 書

令和4年 2月15日

島田市議会議長 大石節雄 様

島田市議会議員 大村泰史

市政調査研究（調査研究・研修）のため、出張したので報告します。

出張年月日	令和4年1月12日(水)から令和4年1月13日(木)まで
出張先	<p>(1/12) 『NPO法人にいほま森のようちえん』 愛媛県新居浜市垣生五丁目4番14号</p> <p>(1/13) 『久万高原町立父二峰小学校』 愛媛県上浮穴郡久万高原町露峰甲364</p>
報告事項	<p>○NPO法人にいほま森のようちえん 視察目的： 全国的に広がりを見せている森のようちえんの現状調査及び運営上の課題等を収集調査する。</p> <p>視察内容 先方への事前の質問項目として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在に至るまでの背景および経過 ・活動状況の調査（運営状況・生徒&保護者の関わり方） ・運営上の課題 ・今後を目指すこと ・教育方針 ・目玉となる特色 ・移住定住世帯のかかわりの有無 ・『森林環境譲与税』の活用状況 ・『幼児教育・保育の無償化制度』の利用状況 をお願いした <p>当日の活動場所である垣生小山にて子供たちの活動の様子を見学。その後、屋内施設で質疑応答をして頂く。</p> <p>『森のようちえん』とは1950年代中頃にデンマークの母親が「子供たちに幼い頃から自然と触れ合う機会を与えのびのびと遊ばせたい」と毎日森に出かけたのが始まり</p>

2000年代になって日本全国に広がりを見せている

・設立は

2018年12月に育休中であった吉村さんがボランティア団体として始める

・背景としては

新居浜市は子育て支援ルームや児童センター等の屋内施設は充実しているが屋外で親子が繋がりを持てる場が十分でなく屋外での活動を通して子供たちの外で思い切り遊びたいという要求を満たしつつ保護者の横の繋がりを作る場所を確保し子育ての知識を参加者・スタッフで共有し親の教育力を育てたい、守られ与えられることに慣れた子供たちは遊具やおもちゃがないと遊べない、将来必要とされる自分で考え行動する力が懸念される、幼児を一人の人として尊重し実体験を積み重ねていく活動を見守ることで幼児期の想像力・創造力・感受性を育み、自分で考え行動する「生きる力」を身につけさせたいとの事でした

・取り組みの目的&特徴（教育方針&特色）

里山での自然保育を通じて子供の健全育成を図り、自然環境保全やまちづくりの推進

「目は皿に、耳はダンゴに、お口チャック、手は後ろ」で「危ない、汚い、ダメ、早く」をなるべく言わず、大人は一步二歩下がって子供たちの主体性を尊重し子供たちの社会を見守る「見守り保育」を実践しているとの事でした

活動実績として野いちご&たけのこ探し、山村感動体験（魚つかみ&川遊び、火育、焚き火、竹でスタードーム、森の音楽会等様々な体験活動、家族参加型・親子参加型等、保護者を取り込んだ活動を実施している

・課題&目指すこと

保護者の保育料関連の負担があること、保育の無償化制度を活かした保育料の無償化、現在は認可外だが認可を受ける対応をするか思案中

・移住定住世帯のかかわり

利用者の中には県外から転勤で当地に来て自然保育に興味を持ち利用されている方もあるとのこと

・『幼児教育・保育の無償化制度』の利用状況

現状では利用していない

【感想】

・全体を通して、以前から全国的に広がりを見せている「森のようちえん」には興味があり森のようちえん全国フォーラムには参加した経験はあったが、今回実際の活動状況を見学させて頂き自然環境の中で子供たちの生き生きとした伸びやかな様子を確認できたことは何よりであり、活動団体の様々な課題を知った

・近年の一段と厳しさを増している子どもをとりまく環境での子育ての大変さを強く感じ、子供たちにとっての幼児期における自然体験が必要であり将来の糧となることを強く望む

・活動当初は市民の森でのイベントから月に一度の家族参加型の週末イベント、毎週金曜日の海浜公園での親子参加型自然保育、毎週月・金曜日での開催等、月日をおって活動度合いが増えていく状況から参加者の要求が高かったことが伺えた

・公民館館長、自治会長、山の地主等、地域の後援、協力を得ている状況も感じた

・関りを持ったスタッフの中にカナダでの生活経験があり他国の子育て状況を取り入れたいとの思いもあったことも知った

また、スタッフ吉村さんは現役の高校教員であり実体験から教え子たちの自己判断能力・意思決定能力の低さを痛感しているとのことで「このままでは」との思いもあり活動されているとの事でした

・子供たちの主体性を尊重することの重要性を改めて感じ、自分で考え、自ら行動する「生きる力」を身に付けてほしいと思う

・保育料の無償化への取り組みについては市議会議員に相談はしているが埒が明かないとのことでした、認可・認可外の違いはあるが保護者にとっては子供に違いがあるわけではなく保育料の軽減措置はあるべきだと思う

そもそも、認可の条件に園舎の定めがあり本来の森のようちえんは「園舎を持たない自然保育」に取り組んでいるからである

・森のようちえんの活動が全国的に広がりを見せている理由として保護者の多様性を望むことも考えられるが待機児童の発生も影響を受けていると感じる、関係市町の活動に対する理解もさまざまであり森のようちえんの活動が移住者の増に繋がっている実績もあり、利用料の軽減処置もされているところもあるが県としての取り組み姿勢で大きく左右されてしまっている

今年開催とされる『第17回 森のようちえん全国フォーラム』が山梨県と静岡県合同で富士宮での開催場所になることで決定されている、当市でも森のようちえんの活動を真似て取り組みだした団体もあるので市議会議員の立場で役に立てる範囲で応援して行きたいと思います。

○久万高原町立父二峰小学校

視察目的：

小規模校である生徒数14名の久万高原町立父二峰小学校の現状把握および教育方針・課題を調査する

視察内容

先方への事前の質問項目として

- ・現在に至るまでの背景および経過
- ・現状把握
- ・特色は何か
- ・運営上の課題
- ・今後の見通し(目指すこと)
- ・学校統廃合への取り組み状況 をお願いした

当日は新型コロナウイルス感染症対策として学童たちとの接点を持たないよう配慮し川西校長先生のみで対応をして頂いた。

今回の視察は全国的に少子高齢化が叫ばれる中、当市においては学校統合化が進められ北部4校の統合が予定されている状況ではあるが全国的にはまだまだ小規模校が存在している、情報提供を頂き生徒数14名の久万高原町立父二峰小学校を紹介して頂き先方からも是非とのお話もあり実現に至った。

最初に感じたことは山間の自然豊かな環境に佇んだ木造建築の校舎であり素晴らしいと思いました

・背景および経過&現状

現在の久万高原町は明治22年以前は1町9村に分割されていた、明治時代に2村ずつ合併、昭和30年に5村が2村となり昭和34年に1町2村が合併、平成16年その当時1町3村だった状況で合併し現在に至っている

合併当初は人口11,877名、5,377世帯であった

2021年12月時点では人口7,686名、4,238世帯とのことです。

愛媛県の中央部に位置し、県都松山市までは約34km、バスで約1時間の距離がある、総面積は約584km²で標高1,000mを超える四国山地の山々に囲まれた中山間地域

町内には小学校は9校存在する(木造校舎)、生徒数は最高で20名、10名を切る学校もある

久万高原町は林業の町であり、父二峰小学校校舎は地元産の杉、桧をふんだんに使用した建物で、地域の風土に合い、人に優

しく、機能性が高く生活感の豊かな平屋建てとし、自然景観に調和したデザインの建物でした。

・特色

校訓『思いやり よく考え たくましく』

学校・家庭・地域がつながることをめざして

地域に根差し共に歩む学校づくりとして

『ふるさと学習』『ふじみね大運動会』『学芸会』等

地域の応援団と連携した学校づくりとして

『ふじみね学校支援連絡協議会』『教育後援会』等がある

予算面では

学校支援地域本部事業(県予算) 30万円

学校と地域の連携促進事業補助金(町予算) 15万円

子供の成長応援補助金(町予算) 20万円

教育後援会(地域：各戸より) 500円/戸⇒30万円

子供への支援(町より)

町営バスの運行 3台⇒校外学習

登下校の私営・町営バス代の補助 3km以上負担なし

移動図書館の運営(各学校へ巡回)

・運営上の課題

県の方針は残したくない(統合を)、町は残したい(現状維持)

・今後の見通し&学校統廃合への取り組み

現教育長の思いで学校統廃合は考えていない

【感想】

・全体を通して、地域に存在するすべての小学校が小規模校であり、歴史や子供を大切にする地域住民の思いを強く感じられた

・校長先生の話の中に道路がよくなったことで住民が減り地域の衰退につながったとあり、中山間地域の共通の問題と再認識した学校がなくなることによる若者のふるさと離れが進み、地域の衰退につながることは避けなければと感じる

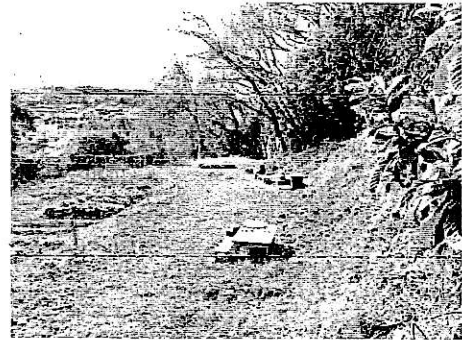
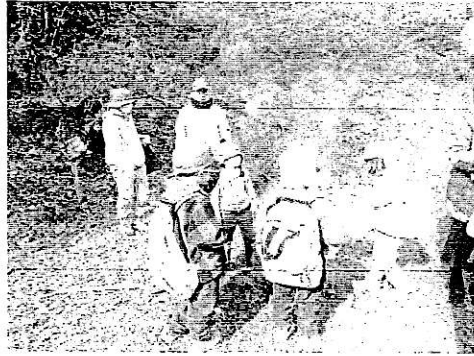
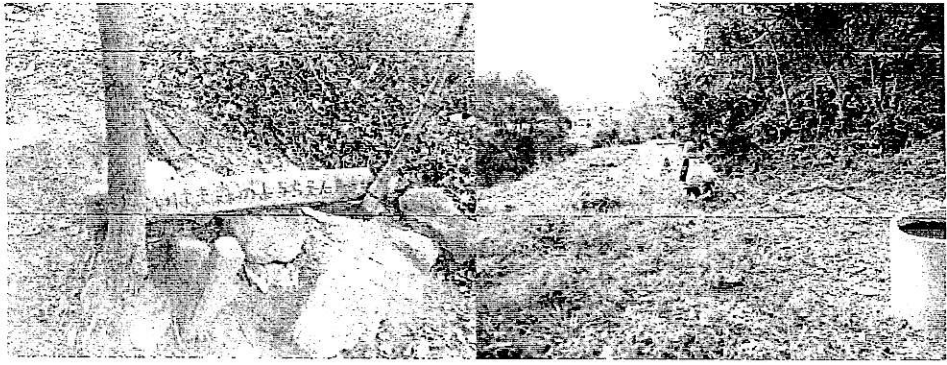
・歴史的にも林業の町ではあったものの地域のすべての小学校の校舎が木造だということには驚きとともに感動をした、地域に校舎は木造にするとの思いが浸透されているのだと確信できた

・地域に根差した学校であることが『ふるさと学習』、『ふじみね大運動会』『学芸会』等に現れていると感じた

・地域の応援団と連携した学校づくりとしての『ふじみね学校支援連絡協議会』の存在が大きく貢献していると思います

・学校統廃合はしないという教育長の決意には感動した、当市にも負けないくらいの人物がいれば北部地域の統合はもうしばらくは避けられたのではと思い、残念である。

にいほま森のようちえんの視察関連写真



久万高原町立父二峰小学校の視察関連写真

